



平成26年 3月28日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 メ ド レ ッ ク ス
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 松 村 眞 良
(コード番号：4586 東証マザーズ)
問 合 せ 先 経 営 管 理 部 長 北 垣 栄 一
(TEL. 03-3664-9630)

平成26年度かがわ中小企業応援ファンド事業採択に関するお知らせ

当社の「イオン液体技術を応用した新規骨粗鬆症治療貼付剤の開発」プロジェクトが、この度、公益財団法人かがわ産業支援財団の平成26年度かがわ中小企業応援ファンド事業に採択されましたのでお知らせいたします。

本プロジェクトは、現在は注射しか投与手段のない、骨形成を促進する薬剤であるテリパラチドの貼付剤を開発することを目標とするもので、貼付剤とすることにより、自己投与可能で、痛みや皮膚損傷が少ないという点で患者負担を大幅に軽減し、生活の質（QOL）を向上させることができると期待されます。

テリパラチドは、間欠的な投与により骨の形成を促進させる薬剤であり、世界の骨粗鬆症市場の1/10を占め、2012年には世界で約11億5千万ドル、国内で約170億円の市場規模となっていますが、分子量約4000のペプチドであるため、現在は注射剤しか上市されていません。

当社は、イオン液体を用いた独自の経皮吸収型製剤技術であるILTS® (Ionic Liquid Transdermal System) を活用することにより、従来の技術では不可能であったテリパラチドの様な高分子のペプチドを経皮吸収させることに取り組んでおり、患者負担の少ない経皮吸収型製剤の登場により市場規模も拡大するのではないかと期待しています。

骨粗鬆症は、骨の吸収（分解）と形成のバランスが崩れることにより、骨の密度や質が低下し、骨折しやすくなる疾患で、日本の骨粗鬆症患者数は1380万人、全国民の1割以上と推定されており、高齢化が進むとともに年々増加し、骨粗鬆症による骨折の医療・介護費用は毎年1兆円以上と推計されています（[いいほね.jp](http://www.iih.ne.jp) 骨粗しょう症ホームページ 骨粗鬆症の予防と治療ガイドライン、ai Reportより）。

本件による当社グループの平成26年12月期業績への影響は軽微であります。翌期以降については精査のうえ、影響が大きい場合は確定次第すみやかにお知らせいたします。

以 上